

広島県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	50点
問題構成	大問4題。2026年度から漢字・語句の問題が独立して一つの大問にまとめて出題された。 [一] 漢字・語句 8点 [二] 文学的文章 17点 【出典】『チョコレート・ピース』青山美智子 記述問題 4問（配点は12点） [三] 説明的文章 15点 【出典】『読めば分かるは当たり前？』犬塚美輪 記述問題 2問（配点は10点） [四] 古文 10点 【出典】『落栗物語』 記述問題 2問（配点は6点）		

	令和8年度(2026)	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)
問題量（A4で）	13ページ分	12ページ分	10ページ分	10ページ分	13ページ分
小問数	22問	23問	21問	23問	20問
論述問題の数	8問	11問	5問	7問	9問
論述問題配点	28点	31点	22点	29点	36点
受験者平均点	26.0点	21.4点	29.5点	26.2点	24.6点

【出題の傾向と対策】

① [一]漢字・語句の問題

本年度より、これまで文章読解問題の中で出題されていた漢字の読み書き問題と語句問題が、独立して一つの大問にまとめられて出題されるようになった。基本的な知識や技能についてみる問題となっていた。

R8 大問一

1 傍線部のカタカナにはそれに当たる漢字を書きなさい。

(4) 友人の活躍を㊦キタイする。

☞本問で注目すべきところ

同音異義語に注意。この分野は漢字の書き取り問題においては頻出である。

☞考え方と傾向

例文における傍線部の言葉の意味を考えて、それに合う漢字を正しく書く技能が試されている。

日頃から漢字の意味を理解しながら書く習慣をつけておくことが必須である。

2 「夏休みに作文を書く。」の「作文」と熟語の構成が同じものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 国立 イ 売買 ウ 善良 エ 防水

☞本問で注目すべきところ

令和4年度を最後に出題がなかった「熟語の構成」についての問題が復活した。

☞考え方と傾向

熟語の構成についての基本的な知識を持つておくことが必須である。

3 「美しい里山を眺める。」の「美しい」の品詞名を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 動詞 イ 形容詞 ウ 形容動詞 エ 副詞

☞本問で注目すべきところ

品詞の問題が新たに出現されるようになった。

☞考え方と傾向

「品詞」についての基本的な知識を持つておくことが必須である。

②[二]文学的文章

例年通り、場面や登場人物の心情などを的確に捉え、それを適切に表現する力などをみる問題となっていた。

R8 大問二

4(2) 次の【ノート】は、ある生徒が、本文と【文章A】を読んで、この場面についてまとめたものです。
空欄Ⅱに当てはまる適切な表現を、二十五字以内で書きなさい。また、空欄Ⅲに当てはまる適切な表現を、五十字以内で書きなさい。

【文章A】

子猫は私に抱かれながら、あたりを見回している。不安と好奇心が混じって光る、透き通った丸い瞳で。あつたかい命のかたまりを感じていたら、じんわりと心がほぐれていった。

そして、妹に対してイヤな言い方をしてしまったと、反省した。

「そうでなければならぬ」「そうしてはいけぬ」って、私の口グセだし、思いグセだ。相手に対しても、自分に対しても。本当は優しくしたいのに、良くないことだとわかってはいるのに、何度も「しまった」と思うのに、どうしてNGばかりの強い口調になってしまうんだろう。

お母さんが水の入った皿を運んでくる。

子猫が腕から降りていったので、私は妹に声をかけた。

「チョコ、食べようよ。」

妹はうなずいたけど、板チョコの包みをはがしながら、きれいに割るのが難しいと言いつつ苦戦している。

きれいに等分して割らなくてはいけない、なんてことはないのだ。凝り固まった自分のルールを、ここちよつと割ってみよう。

私は妹から板チョコを受け取り、勢いよくばきばきと割った。

（青山美智子 「チョコレート・ピース」による）

【ノート】

○姉がチョコを割る場面の比較

妹は、姉がチョコを（Ⅱ）割るだろうと思っていたが、実際には、銀紙ごと威勢よく割り出した。

姉は、（Ⅲ）という思いから、チョコを勢いよく割った。

- ☞本問で注目するべきところ
本文は妹の視点から描かれた文章であり、【文章A】は姉の視点から描かれた文章である。
視点を变えて、登場人物ごとに心情を読み取り、それを適切に表現する力をみる問題が毎年出ている。
- ☞考え方と傾向
話の展開に即して場面を捉え、観点を明確にして登場人物の心情を読み取ることを、日頃から意識して物語文を読んでいく習慣を着けておくことが大切である。また、心情説明の記述問題は毎年出るので、読み取った心情を適切に表現する練習をしっかりと積んでおくことが必要である。

③[三]説明的文章

例年通り、文章の論理的な構成や展開などを捉えて、筆者が伝える要点や主張を理解し、それを適切に表現する力などをみる問題となっていた。

R8 大問三

3(2) 西田さんと青木さんは、会話のあとにお互いの意見文を読んで、アドバイスをを行うことにしました。
次の【意見文】は、西田さんが書いたもので、あとの【アドバイス】は、青木さんが、西田さんに対して行ったものです。これらを読んで、空欄Ⅱに当てはまる適切な表現を、百字以内で書きなさい。

【意見文】

私は、人に何かを伝えるときに一番大切なことは、誤りのない正確な表現で伝えることだと考えている。伝えたいことがあっても、誤りのない正確な表現でなければ、伝えたいという思いだけでは、絶対に相手には伝わらない。

私がこのように考えるのは、海外からの観光客から英語で道をたずねられた出来事がきっかけとなっている。そのとき、誤りのない正確な表現で伝えることができなかったが、精一杯伝えようと努力した。すると、私の伝えたいという思いが通じたのか、私の伝えたいことを伝えることができた。観光客の方からは、とても感謝してもらえ、私も伝えることができてうれしかった。

【アドバイス】

西田さんが書いた意見文について、文章の筋が通っているかという観点からアドバイスすると、（Ⅱ）になっているため、筋が通らないと思うよ。

☞本問で注目すべきところ

形式は、条件作文に近いものであった。筆者の考えへの理解力と、それを応用する力が試される問題になっていた。

☞考え方と傾向

論理の展開に即して内容を的確に捉えることを日頃から意識して説明的文章を読んでいく習慣を着けておくことが大切である、また、目的に応じて必要な内容を適切に表現する練習をしっかりと積んでおき、記述の問題に対応できる力を備えておく必要がある。

④[四]古文

例年通り、基本的な知識事項の理解や、文章の内容を的確に捉え、それを適切に表現する力などをみる問題となっていた。

R8 大問四

花山院右大臣、或夜の夢に、摩利支天枕上に立ち給ひて、^①「汝^②司位は高けれども宝には貧し。もし我を祭らば、七珍万宝心のままなは富貴はあはれむ。」と申し告げ有りしを、大臣は何とも思ひたらず居給ひしに、^③「いざ疾く祭り給へかし。」^④といひければ、「いやとよ、朝に仕へる身は、清きを願ひて貧しきを厭はず。」とて、終に祭り給はざりしとぞ。
(注1) 摩利支天 神の名前。
(注2) 朝 朝廷。
(「落葉物語」による。)

- 2 傍線部②「かく」はどのようなことを指していますか。現代の言葉を用いて、四十五字以内で書きなさい。
4 傍線部④「祭り給はざりし」とあるが、それはなぜですか。現代の言葉を用いて、四十字以内で書きなさい。

☞本問で注目すべきところ

本文の内容を的確に捉えており、それを現代語で適切に表現する力が試されていた。

☞考え方と傾向

本文内容を正しく捉えることができているならば、問題に応じて必要な内容を適切に表現することは難しくないもので、日頃から古文を読んでその意味を現代語で確認する練習を積んでおくことが必要である。

紹介した問題の解答（※解答は県発表の標準解答に拠る）

大問1 1(4) 期待 2 エ 3 イ

大問2 4(2)Ⅱ (例) 上手に割るコツを知っていて、ていねいに、均等に (23字)

Ⅲ (例) 自分にも相手に求めてしまう「そうでなければならない」という凝り固まったルールを壊してみよう (46字)

大問3(2) (例) 誤りのない正確な表現でなければ、絶対に相手には伝わらないと述べているのに、そう考える理由として挙げている出来事の内容が、誤りのない正確な表現でなくても、伝えたいという思いで相手に伝えられたというもの (99字)

大問4 2 (例) 夢に摩利支天が現れ、自分を祭れば宝物を望みどおりに得られると告げることが三夜続いたこと。 (44字)

4 (例) 朝廷に仕える身として清らかでありたいと願い、貧しさを厭わないと考えていたから。 (39字)